

**平成22年度  
港区基本計画・赤坂地区版計画に関する  
区民意識調査報告書**

**平成 23 年 2 月**

**港区赤坂地区総合支所**

**協働推進課**

## 港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

# 目 次

I. 調査の目的と概要	1
1. 調査の背景と目的	1
2. 調査の概要	1
II. 調査回答者の状況「ご自身について」	2
1. 【問 1】性別	2
2. 【問 2】年齢	3
3. 【問 3】職業	4
4. 【問 4】居住地域	5
5. 【問 5】家族構成	6
6. 【問 6】同居者（複数回答）	7
7. 【問 7】同居者の年齢（複数回答）	8
8. 【問 8】居住形態	9
9. 【問 9】居住年数	10
10. 【問 10】住みよさ	11
11. 【問 11】定住意向	12
III. 調査回答者の意識「地区の事業について」	13
1. 【問 12】地域事業（認知度、期待度、関心度）	13
(1) 認知度	13
(2) 期待度	15
(1) 関心度	17
2. 【問 12】地域事業への自由意見（主なもの）	19
3. 【問 13】参加している地域活動（複数回答）	20
4. 【問 14】地域事業への参画意向	21
5. 【問 15】地域活動等へ参画しない理由（複数回答）	22
6. 【問 16】地域の課題（複数回答）	23
7. 【問 16】地域の課題への具体的な意見（主なもの）	25
8. 【問 17】情報の入手方法（複数回答）	26
9. 【問 18】住民参加の呼びかけ方法（複数回答）	28

※数値について…百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、構成比を足し合わせて100%にならない場合があります。また、複数回答については合計が100%を超える場合があります。

# I. 調査の目的と概要

## 1. 調査の背景と目的

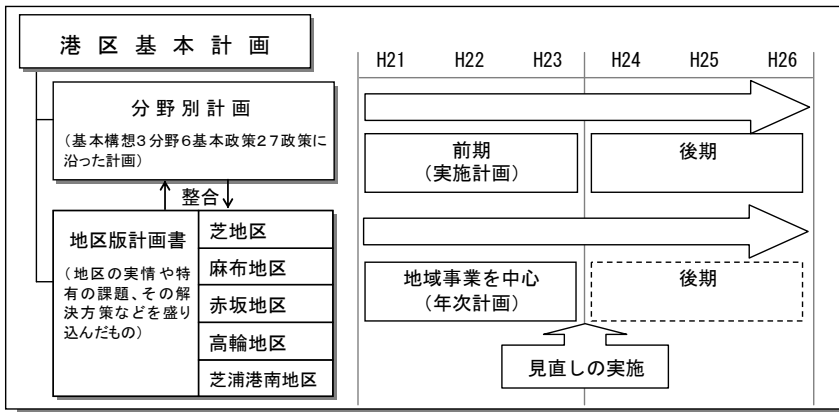
区は、区民により身近な場所で、多様な区民のニーズを把握し、責任を持って地域の実情を踏まえた施策を展開していくため、平成 18 年 4 月、「区役所・支所改革」により、芝、麻布、赤坂、高輪、芝浦港南の各総合支所を設置しました。

平成 21 年 2 月には、「区役所・支所改革」や社会経済情勢の変化を踏まえ、区が行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画である「港区基本計画（平成 21 年度～26 年度）」を策定しました。

港区基本計画は、全区的な計画である「分野別計画」と総合支所別の「地区版計画」から構成されており、赤坂・青山地区の「赤坂地区版計画」では、地区の将来像を「未来に向け共存できるまち 赤坂・青山 ～コミュニケーションを育むまち～」と掲げ、その実現に向け、地域の魅力をより高め、地域の課題や特性に応じて赤坂地区総合支所が独自に取り組むべき「地域事業」を計上しています。

「赤坂地区版計画」は、計画期間の 6 か年を前期と後期に区分し、3 年目の平成 23 年度に後期 3 年の見直しを行います。

本調査は、赤坂・青山地区にお住まいの方を対象に、地域事業や地域の課題についてのご意見やご要望をお聞きし、初めて行う「赤坂地区版計画」の見直しの資料として活用するために行いました。



## 2. 調査の概要

- |        |                          |         |                                     |
|--------|--------------------------|---------|-------------------------------------|
| ● 調査対象 | 港区赤坂地区内に住民登録する満 20 歳以上の人 | ● 調査方法  | 郵送法                                 |
| ● 標本数  | 763 標本 (有効発送数※ 749)      | ● 調査期間  | 平成 22 年 12 月 3 日 (金) ~12 月 20 日 (月) |
| ● 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出           | ● 有効回収数 | 275 標本                              |
|        |                          | ● 有効回収率 | 36.7%                               |

### ● 調査項目

- ・ 調査回答者の状況「ご自身について」  
性別、年齢、職業、居住地域、家族構成、同居者、同居者の年齢、居住形態、居住年数、住みよさ、定住意向
- ・ 調査回答者の意識「地区の事業について」  
地域事業の状況（認知度、期待度、関心度、自由意見）、参加している地域活動、地域事業への参画意向・地域活動等へ参画しない理由、地域の課題（テーマ、具体的な意見）、情報の入手方法、住民参加の呼びかけ方法

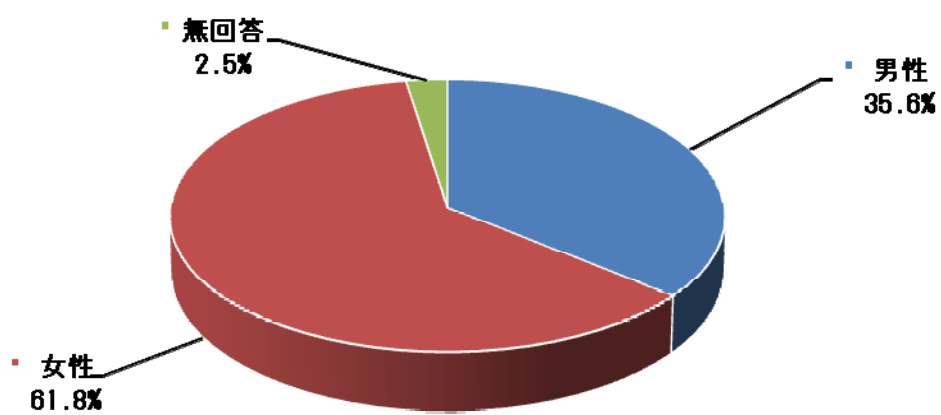
※宛先不明等による配達不能分を除いた数

## Ⅱ. 調査回答者の状況「ご自身について」

### 1. 【問1】性別

質問：あなたの性別をお答えください。(一つに○)

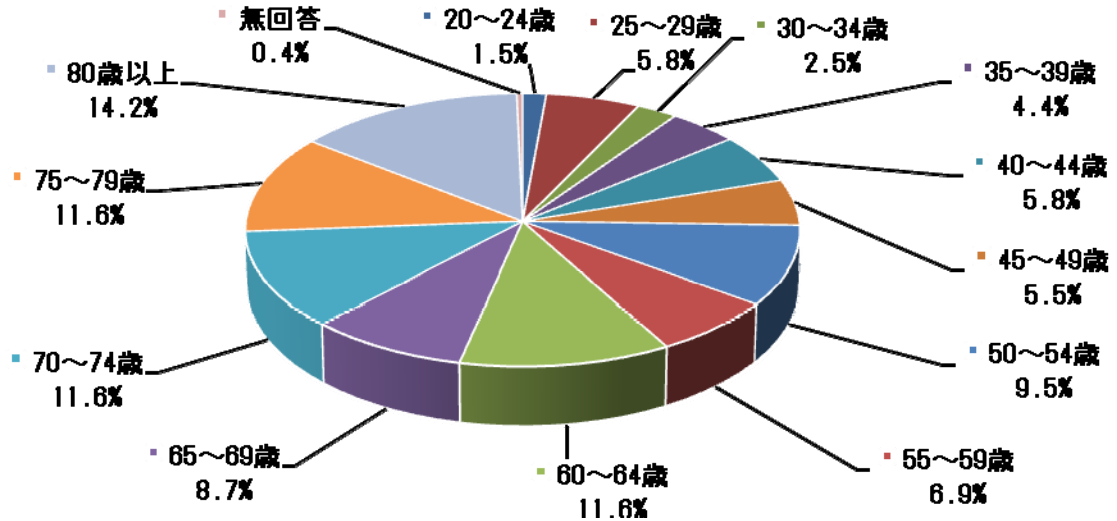
	設問	件数	構成比 (%)
1.	男性	98	( 35.6)
2.	女性	170	( 61.8)
3.	無回答	7	( 2.5)
	合計	275	(100.0)



## 2. 【問2】年齢

質問：あなたの年齢をお答えください。(一つに○)

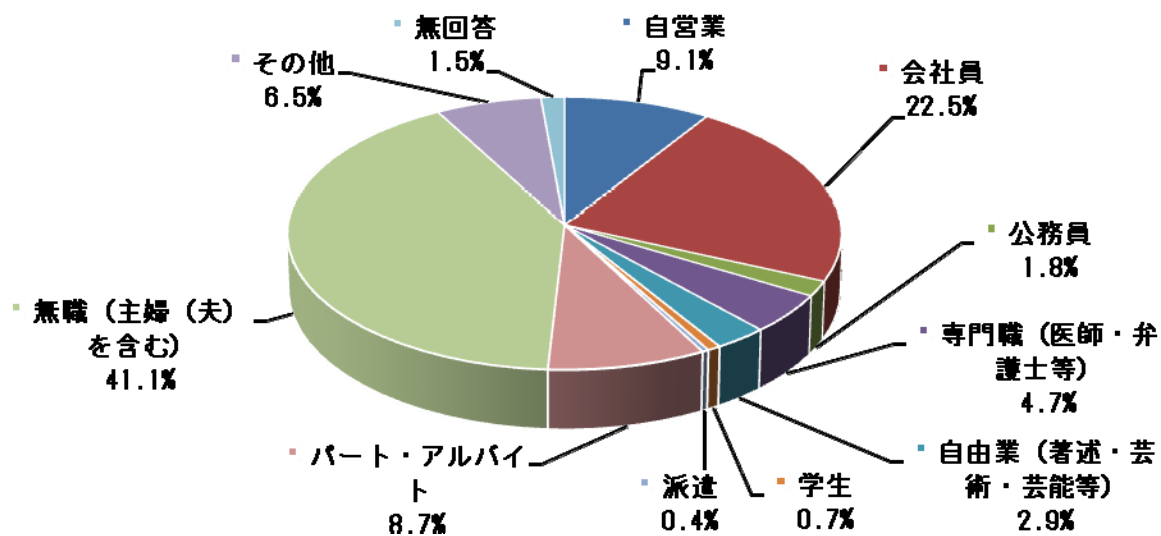
	設問	件数	構成比 (%)
1.	20～24 歳	4	( 1.5)
2.	25～29 歳	16	( 5.8)
3.	30～34 歳	7	( 2.5)
4.	35～39 歳	12	( 4.4)
5.	40～44 歳	16	( 5.8)
6.	45～49 歳	15	( 5.5)
7.	50～54 歳	26	( 9.5)
8.	55～59 歳	19	( 6.9)
9.	60～64 歳	32	( 11.6)
10.	65～69 歳	24	( 8.7)
11.	70～74 歳	32	( 11.6)
12.	75～79 歳	32	( 11.6)
13.	80 歳以上	39	( 14.2)
14.	無回答	1	( 0.4)
	合計	275	(100.0)



### 3. 【問3】職業

質問：ご職業についてお答えください。（一つに○）

	設問	件数	構成比 (%)
1.	自営業	25	( 9.1)
2.	会社員	62	( 22.5)
3.	公務員	5	( 1.8)
4.	専門職 (医師・弁護士等)	13	( 4.7)
5.	自由業 (著述・芸術・芸能等)	8	( 2.9)
6.	学生	2	( 0.7)
7.	派遣	1	( 0.4)
8.	パート・アルバイト	24	( 8.7)
9.	無職 (主婦 (夫) を含む)	113	( 41.1)
10.	その他	18	( 6.5)
11.	無回答	4	( 1.5)
	合計	275	(100.0)

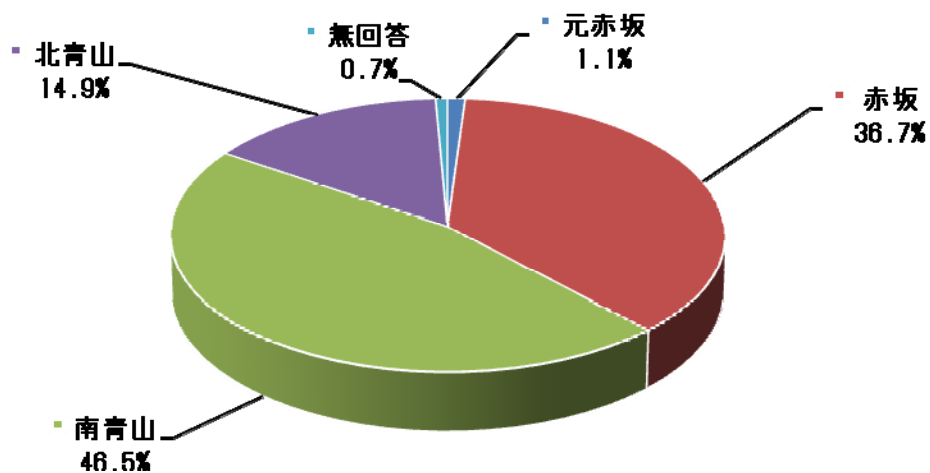




#### 4. 【問4】居住地域

質問：現在お住まいの地域をお答えください。(一つに〇)

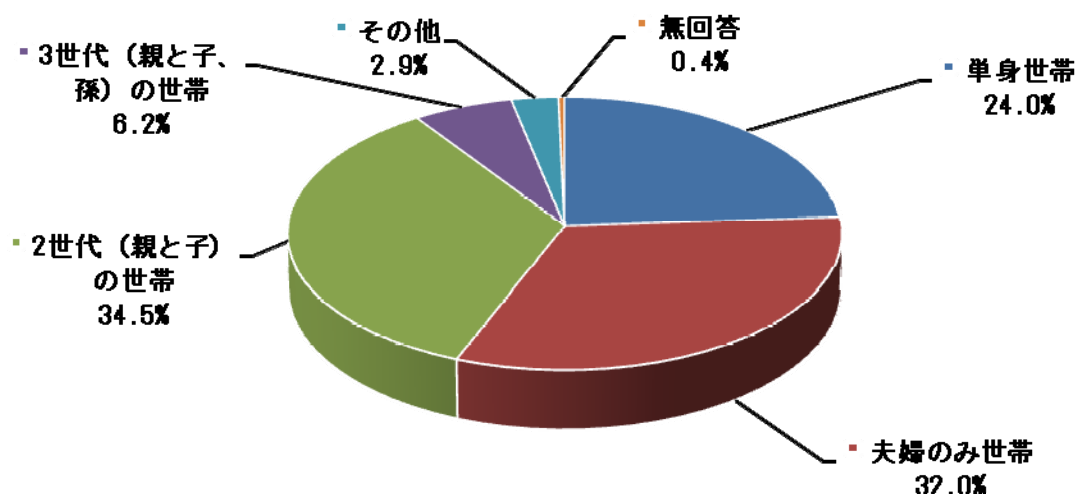
	設問	件数	構成比 (%)
1.	元赤坂	3	( 1.1)
2.	赤坂	101	( 36.7)
3.	南青山	128	( 46.5)
4.	北青山	41	( 14.9)
5.	無回答	2	( 0.7)
	合計	275	(100.0)



## 5. 【問5】 家族構成

質問：家族構成についてお答えください。（一つに○）

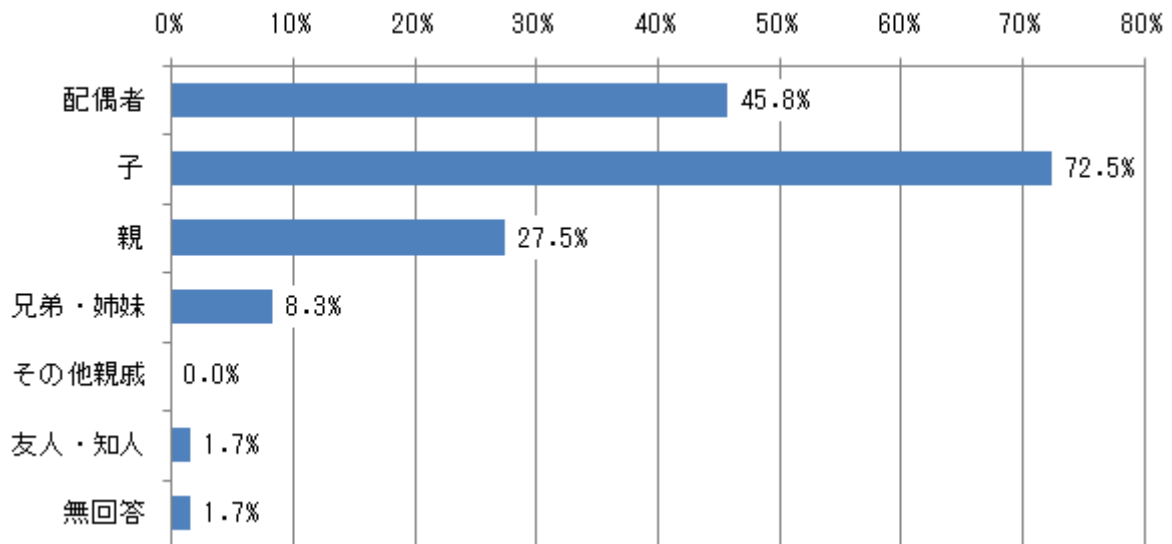
	設問	件数	構成比 (%)
1.	単身世帯	66	( 24.0)
2.	夫婦のみ世帯	88	( 32.0)
3.	2世代（親と子）の世帯	95	( 34.5)
4.	3世代（親と子、孫）の世帯	17	( 6.2)
5.	その他	8	( 2.9)
6.	無回答	1	( 0.4)
	合計	275	(100.0)



## 6. 【問6】同居者（複数回答）

質問：問5で3～5とお答えいただいた方にお伺いします。ご一緒に住まわれている方はどういった方ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

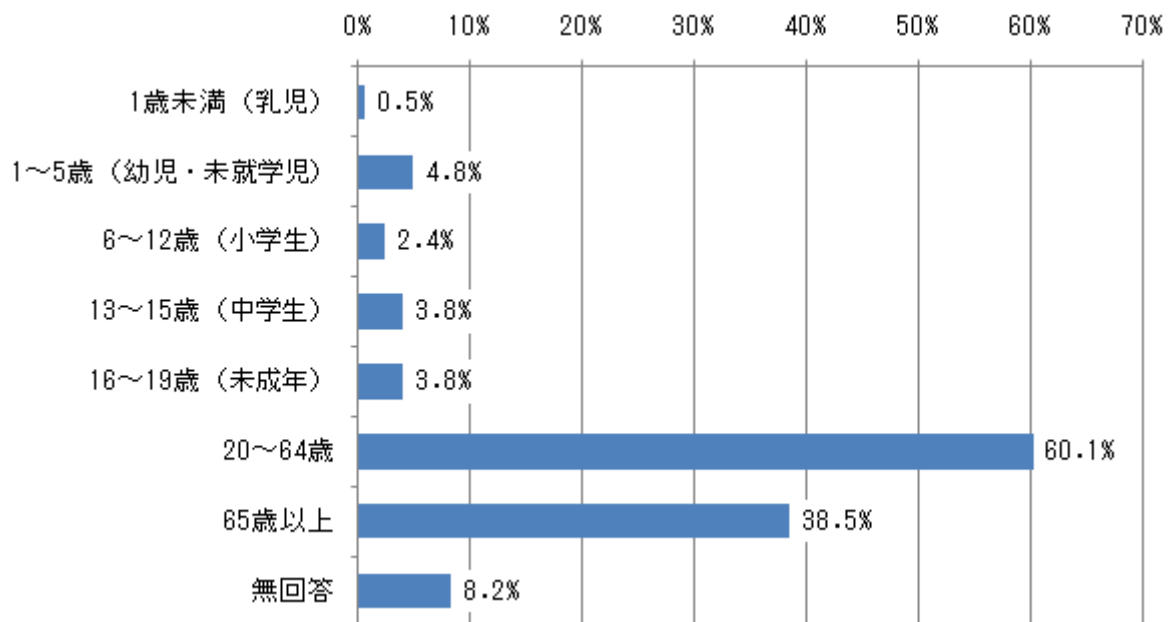
	設問	件数	構成比 (%)
1.	配偶者	55	( 45.8 )
2.	子	87	( 72.5 )
3.	親	33	( 27.5 )
4.	兄弟・姉妹	10	( 8.3 )
5.	その他親戚	0	( 0.0 )
6.	友人・知人	2	( 1.7 )
7.	無回答	2	( 1.7 )
	合計	189	( - )
	回答者数	120	(100.0)



## 7. 【問7】同居者の年齢（複数回答）

質問：問5で2～5とお答えいただいた方にお伺いします。ご一緒に住まわれている方の年齢は何歳ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

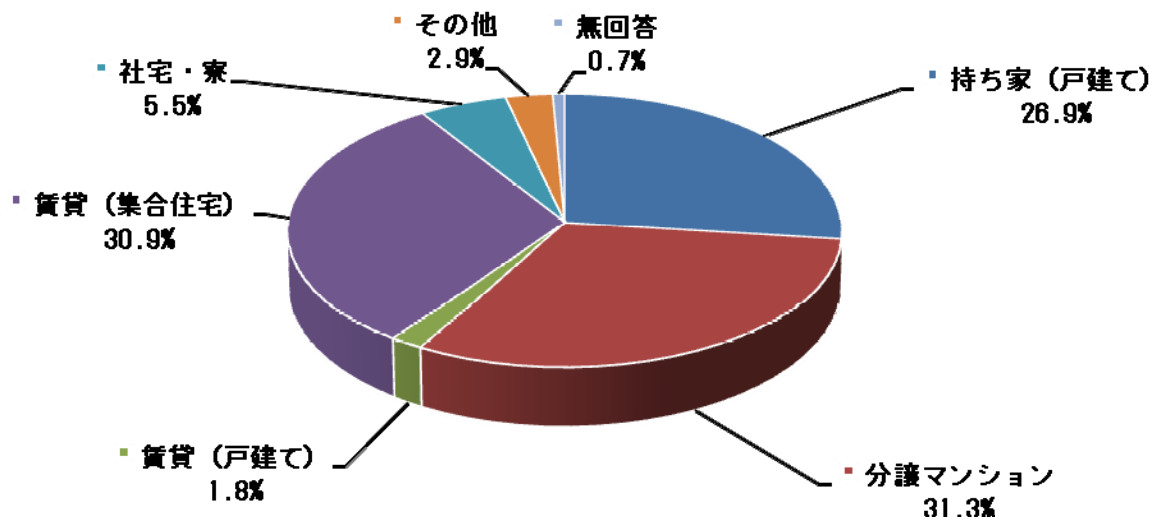
	設問	件数	構成比 (%)
1.	1歳未満（乳児）	1	（ 0.5）
2.	1～5歳（幼児・未就学児）	10	（ 4.8）
3.	6～12歳（小学生）	5	（ 2.4）
4.	13～15歳（中学生）	8	（ 3.8）
5.	16～19歳（未成年）	8	（ 3.8）
6.	20～64歳	125	（ 60.1）
7.	65歳以上	80	（ 38.5）
8.	無回答	17	（ 8.2）
	合計	254	（ - ）
	回答者数	208	（100.0）



## 8. 【問 8】 居住形態

質問：現在のお住まいについてお答えください。（一つに○）

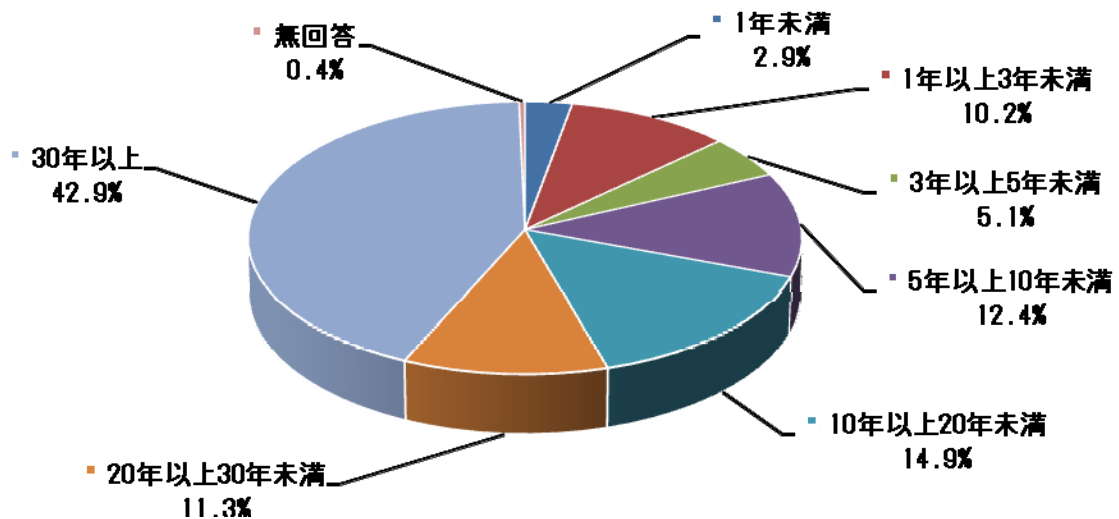
	設問	件数	構成比 (%)
1.	持ち家（戸建て）	74	( 26.9)
2.	分譲マンション	86	( 31.3)
3.	賃貸（戸建て）	5	( 1.8)
4.	賃貸（集合住宅）	85	( 30.9)
5.	社宅・寮	15	( 5.5)
6.	その他	8	( 2.9)
7.	無回答	2	( 0.7)
	合計	275	(100.0)



## 9. 【問9】居住年数

質問：現在の赤坂・青山地区への居住年数についてお答えください。(一つに○)

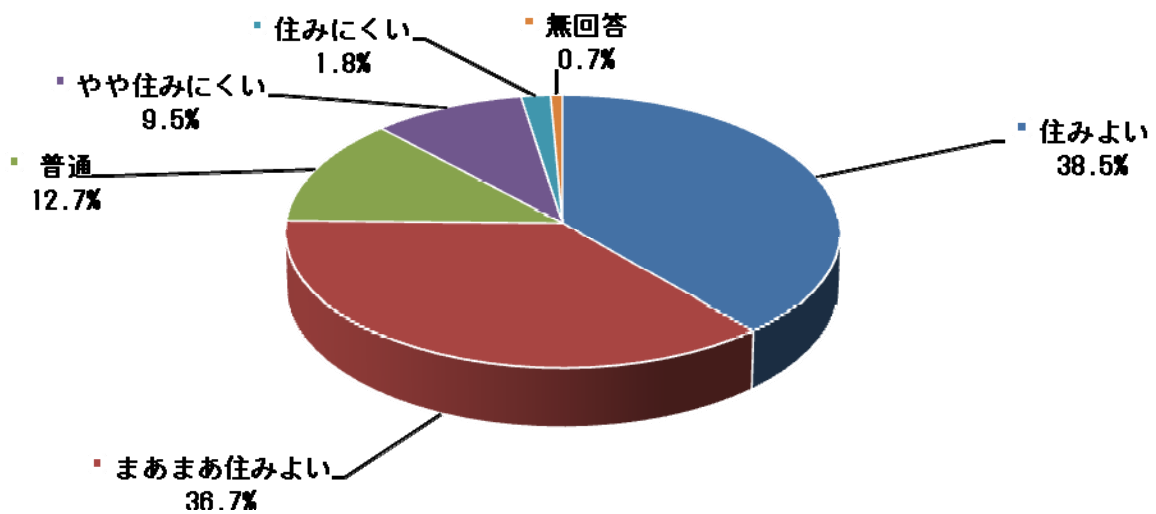
	設問	件数	構成比 (%)
1.	1年未満	8	( 2.9)
2.	1年以上3年未満	28	( 10.2)
3.	3年以上5年未満	14	( 5.1)
4.	5年以上10年未満	34	( 12.4)
5.	10年以上20年未満	41	( 14.9)
6.	20年以上30年未満	31	( 11.3)
7.	30年以上	118	( 42.9)
8.	無回答	1	( 0.4)
	合計	275	(100.0)



10. 【問 10】 住みよさ

質問：赤坂・青山地区の住みよさについてどのようにお考えですか。（一つに○）

	設問	件数	構成比（％）
1.	住みよい	106	（ 38.5）
2.	まあまあ住みよい	101	（ 36.7）
3.	普通	35	（ 12.7）
4.	やや住みにくい	26	（ 9.5）
5.	住みにくい	5	（ 1.8）
6.	無回答	2	（ 0.7）
	合計	275	（100.0）

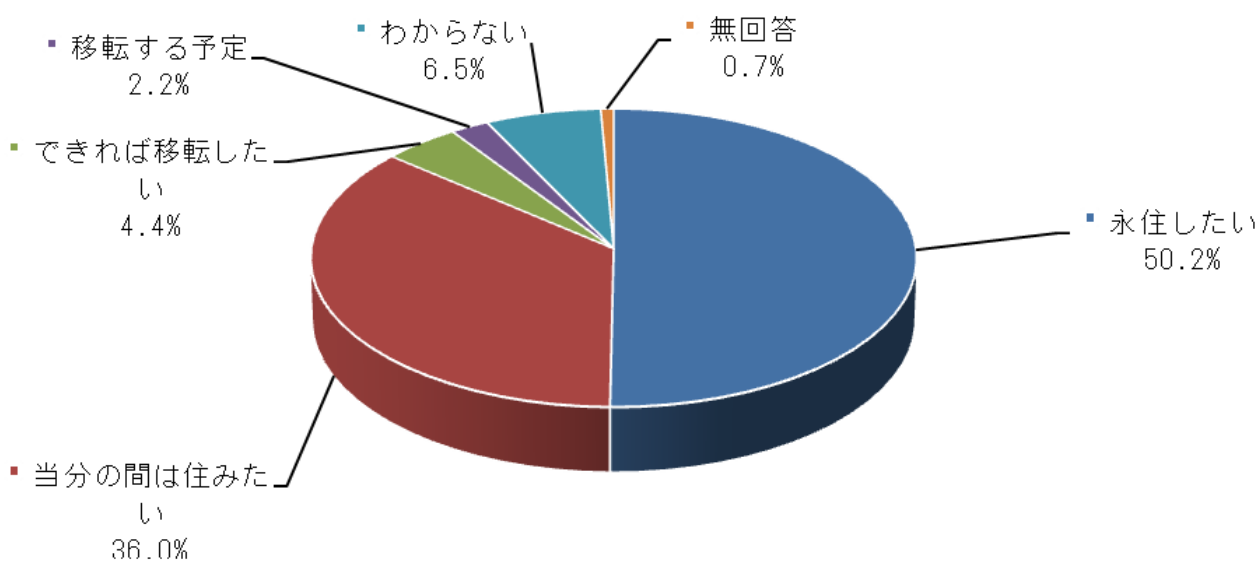


・赤坂・青山地区の住みよさについては、全体の7割以上、207人（75.2%）の人が「住みよい」106人（38.5%）、「まあまあ住みよい」101人（36.7%）と、肯定的な回答をしている。

## 11. 【問 11】 定住意向

質問：今後の定住意向についてどのようにお考えですか。（一つに○）

	設問	件数	構成比（％）
1.	永住したい	138	（ 50.2）
2.	当分の間は住みたい	99	（ 36.0）
3.	できれば移転したい	12	（ 4.4）
4.	移転する予定	6	（ 2.2）
5.	わからない	18	（ 6.5）
6.	無回答	2	（ 0.7）
	合計	275	（100.0）



・全体の 8 割以上、237 人（86.2％）の人が、「永住したい」138 人（50.2％）、「当分の間は住みたい」99 人（36.0％）と、今後も定住意向があると考えている。



### Ⅲ. 調査回答者の意識「地区の事業について」

#### 1. 【問 12】地域事業（認知度、期待度、関心度）

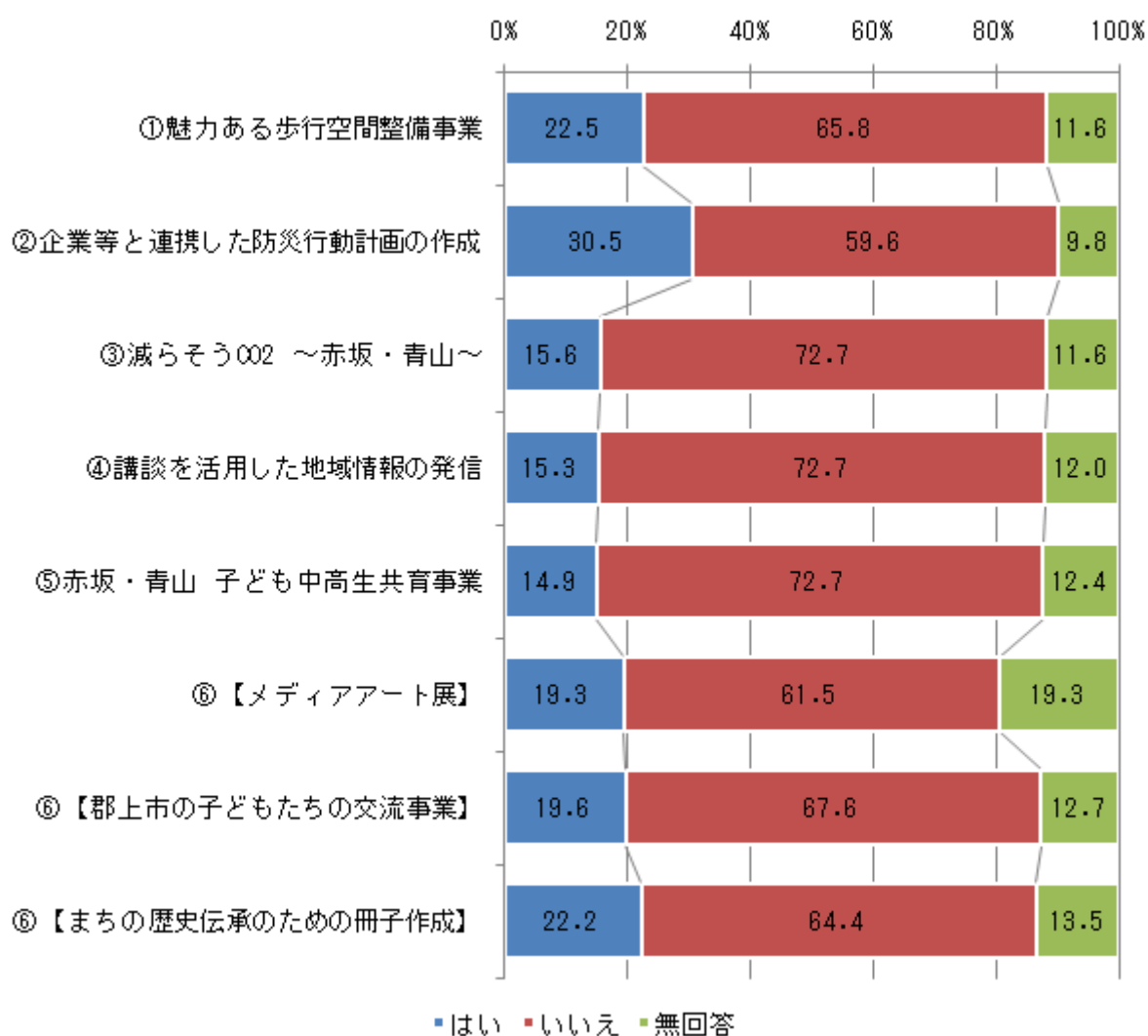
質問：現在、赤坂地区総合支所では、赤坂地区版計画に基づき、独自に事業（地域事業）を実施しています。別紙「赤坂地区総合支所が独自に取り組む地域事業」をご参照いただき、各事業について、お考えに近い項目を選んで○を付けてください。また、事業への提案や個別のご意見等がありましたら「自由意見」欄にご記入ください。

#### (1) 認知度

質問：事業をご存知でしたか

設問	合計	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
①区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備事業	275 (100.0)	62 ( 22.5)	181 ( 65.8)	32 ( 11.6)
②企業等と連携した防災行動計画の作成	275 (100.0)	84 ( 30.5)	164 ( 59.6)	27 ( 9.8)
③減らそうCO2 ～赤坂・青山～	275 (100.0)	43 ( 15.6)	200 ( 72.7)	32 ( 11.6)
④講談を活用した地域情報の発信	275 (100.0)	42 ( 15.3)	200 ( 72.7)	33 ( 12.0)
⑤赤坂・青山 子ども中高生共育事業	275 (100.0)	41 ( 14.9)	200 ( 72.7)	34 ( 12.4)
⑥【メディアアート展】	275 (100.0)	53 ( 19.3)	169 ( 61.5)	53 ( 19.3)
⑥【港区赤坂・青山地区と郡上市の子どもたちの交流事業】	275 (100.0)	54 ( 19.6)	186 ( 67.6)	35 ( 12.7)
⑥【まちの歴史伝承のための冊子作成】	275 (100.0)	61 ( 22.2)	177 ( 64.4)	37 ( 13.5)

注：上段は件数、下段（）内は構成比（％）



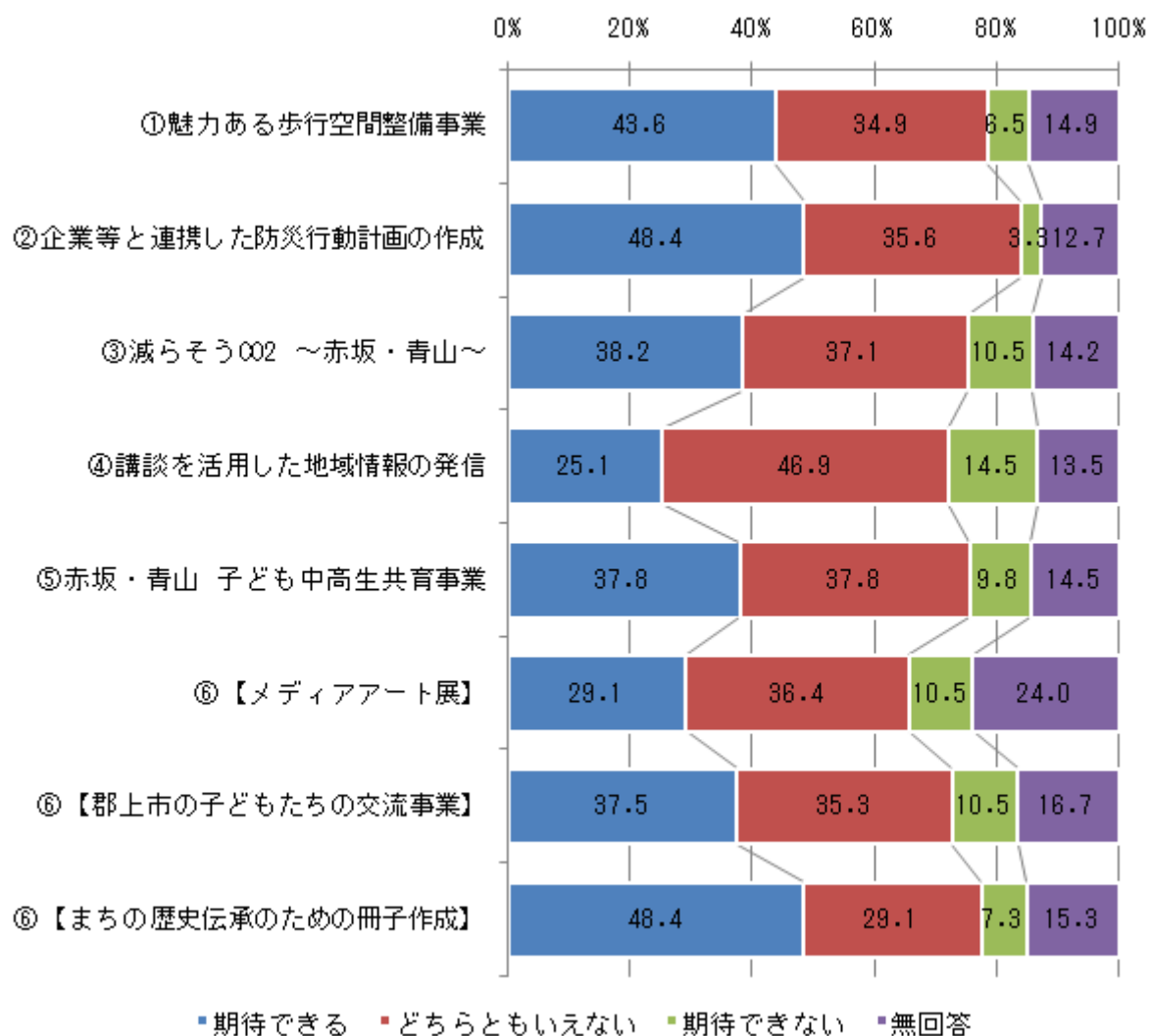
- ・ 地域事業の認知度は、「②企業等と連携した防災行動計画の作成」84人（30.5%）と最も高く、次いで「①区民とともに作る魅力ある歩行空間整備事業」62人（22.5%）、「⑥【まちの歴史伝承のための冊子作成】」61人（22.2%）となっている。
- ・ 一方で、全ての事業で「いいえ」と回答した人が約6割を超える結果となった。中でも「③減らそうCO2 ～赤坂・青山～」、「④講談を活用した地域情報の発信」、「⑤赤坂・青山 子ども中高生共育事業」は7割以上の人が「いいえ」と回答している。

(2) 期待度

質問：期待度（○は一つ）

設問	合計	1. 期待できる	2. どちらともいえない	3. 期待できない	4. 無回答
①区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備事業	275 (100.0)	120 ( 43.6)	96 ( 34.9)	18 ( 6.5)	41 ( 14.9)
②企業等と連携した防災行動計画の作成	275 (100.0)	133 ( 48.4)	98 ( 35.6)	9 ( 3.3)	35 ( 12.7)
③減らそうCO2 ～赤坂・青山～	275 (100.0)	105 ( 38.2)	102 ( 37.1)	29 ( 10.5)	39 ( 14.2)
④講談を活用した地域情報の発信	275 (100.0)	69 ( 25.1)	129 ( 46.9)	40 ( 14.5)	37 ( 13.5)
⑤赤坂・青山 子ども中高生共育事業	275 (100.0)	104 ( 37.8)	104 ( 37.8)	27 ( 9.8)	40 ( 14.5)
⑥【メディアアート展】	275 (100.0)	80 ( 29.1)	100 ( 36.4)	29 ( 10.5)	66 ( 24.0)
⑥【港区赤坂・青山地区と郡上市の子どもたちの交流事業】	275 (100.0)	103 ( 37.5)	97 ( 35.3)	29 ( 10.5)	46 ( 16.7)
⑥【まちの歴史伝承のための冊子作成】	275 (100.0)	133 ( 48.4)	80 ( 29.1)	20 ( 7.3)	42 ( 15.3)

注：上段は件数、下段（）内は構成比（%）



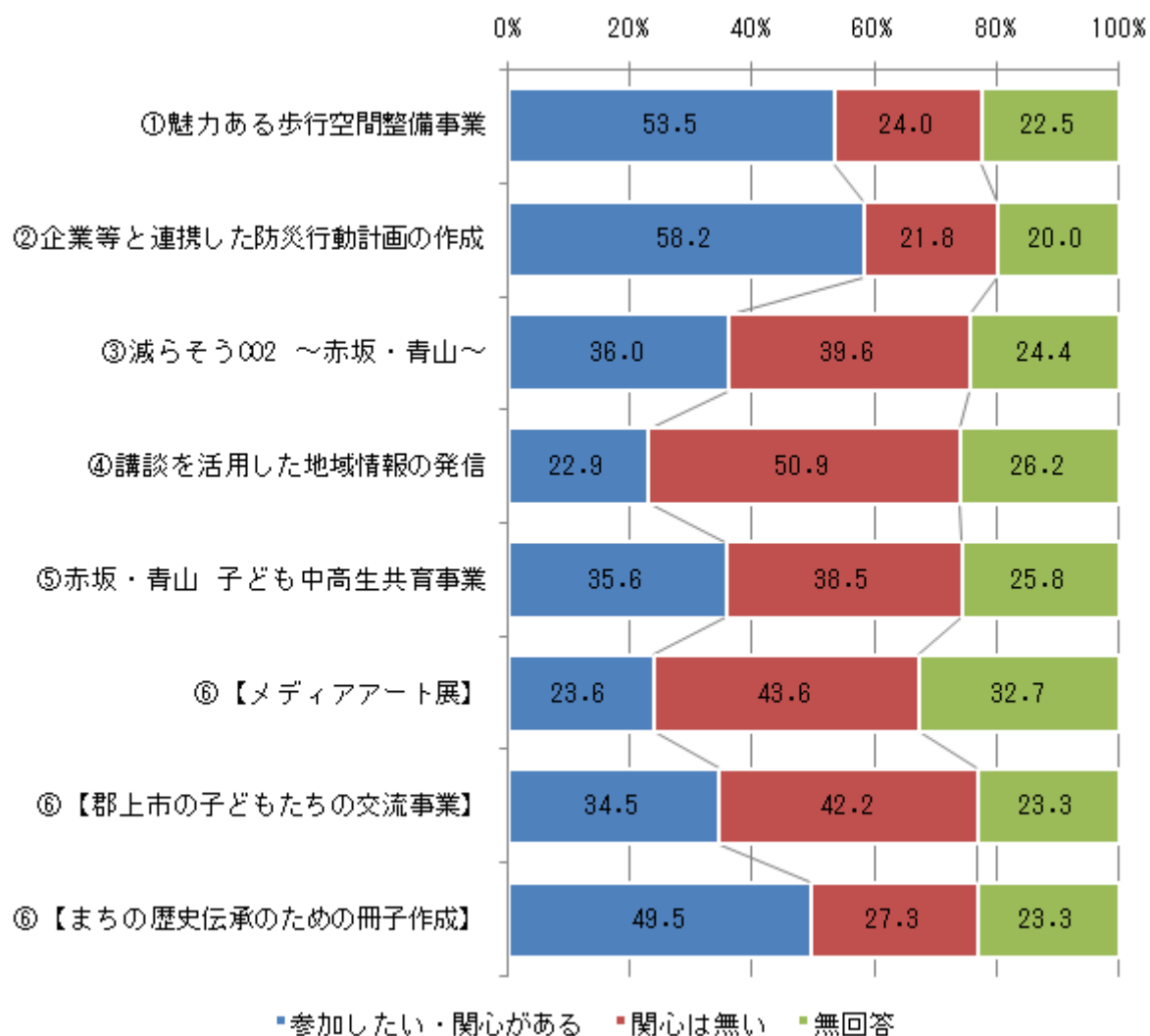
- ・地域事業の期待度は、「②企業等と連携した防災行動計画の作成」と「⑥【まちの歴史伝承のための冊子作成】」が 133 人（48.4%）と最も高く、次いで、「①区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備事業」120 人（43.6%）となっている。
- ・一方で、「④講談を活用した地域情報の発信」、「⑥【メディアアート展】」の期待度は 30% 未満となっている。また、「④講談を活用した地域情報の発信」については、「認知度」の低さもあるためか、「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

### (3) 関心度

質問：参加したいと思う又は関心がありますか

設問	合計	1. 参加したい・関心 がある	2. 関心は無い	3. 無回答
①区民とともにつくる魅力ある 歩行空間整備事業	275 (100.0)	147 ( 53.5)	66 ( 24.0)	62 ( 22.5)
②企業等と連携した防災行動計 画の作成	275 (100.0)	160 ( 58.2)	60 ( 21.8)	55 ( 20.0)
③減らそう CO2 ～赤坂・青山～	275 (100.0)	99 ( 36.0)	109 ( 39.6)	67 ( 24.4)
④講談を活用した地域情報の発 信	275 (100.0)	63 ( 22.9)	140 ( 50.9)	72 ( 26.2)
⑤赤坂・青山 子ども中高生共育 事業	275 (100.0)	98 ( 35.6)	106 ( 38.5)	71 ( 25.8)
⑥【メディアアート展】	275 (100.0)	65 ( 23.6)	120 ( 43.6)	90 ( 32.7)
⑥【港区赤坂・青山地区と郡上市 の子どもたちの交流事業】	275 (100.0)	95 ( 34.5)	116 ( 42.2)	64 ( 23.3)
⑥【まちの歴史伝承のための冊子 作成】	275 (100.0)	136 ( 49.5)	75 ( 27.3)	64 ( 23.3)

注：上段は件数、下段（）内は構成比（%）



- ・地域事業の関心度は、「②企業等と連携した防災行動計画の作成」が 160 人 (58.2%) と最も高く、次いで「①区民とともに作る魅力ある歩行空間整備事業」147 人 (53.5%)、いずれも身近な生活の中での安全・安心に関わる事業となっている。
- ・一方、「④講談を活用した地域情報の発信」、「⑥【メディアアート展】」は、関心度がいずれも 20% 台と低くなっており、「④講談を活用した地域情報の発信」について「関心がない」と回答した人は 140 人 (50.9%) となっている。

2. 【問 12】 地域事業への自由意見（主なもの）

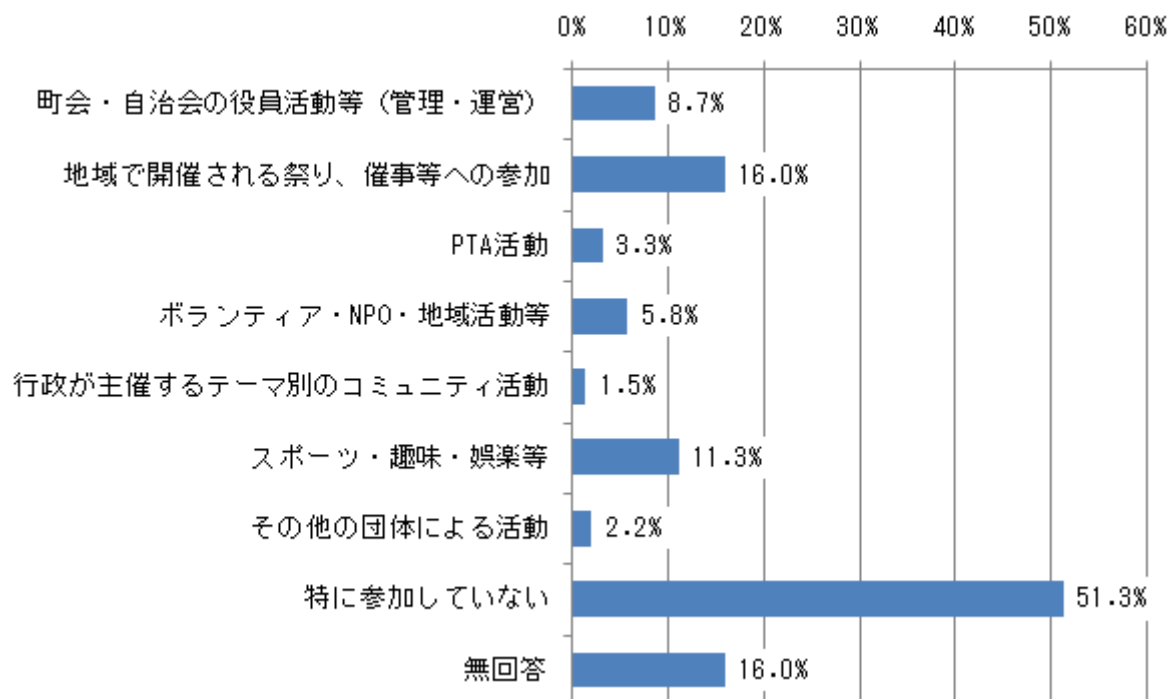
事業名	自由意見
①区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道での歩行者と自転車の分離を進めてほしい。現状では、どちらも通りにくい状況にある。</li> <li>・ 自転車や自動二輪の放置が多い。</li> <li>・ 電柱の地中化や歩道の拡張等を進めてほしい。</li> </ul>
②企業等と連携した防災行動計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の内容について、具体的な情報が全く届いていない。</li> <li>・ 日頃から考えておくべき必要があり、避難場所等には看板を設置してほしい。</li> <li>・ 地震等の災害時の具体的な対応が知りたい。</li> </ul>
③減らそう CO2 ～赤坂・青山～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中で解決できる問題ではない。</li> <li>・ CO2 の削減に意味があるのか分からない。</li> <li>・ 啓発活動については推進してほしい。</li> </ul>
④講談を活用した地域情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講談を活用する理由がわからない。</li> <li>・ 効果がわからない。費用対効果の検証等が必要。</li> <li>・ 多くの人に関心を持たせる情報発信方法を考えて欲しい。</li> </ul>
⑤赤坂・青山 子ども中高生共育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の内容やイベントの開催等が伝わっていない。</li> <li>・ 子どもではなく、子育てをする親の教育が必要。</li> <li>・ 地域や年齢にとらわれず、子どもを育てるためのプログラム、施策を展開してほしい。</li> </ul>
⑥【メディアアート展】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よくわからない、アートの内容による、面白くない。</li> <li>・ 地域活性化、文化の向上のためにも良いことと思う。</li> <li>・ 住民主体の、もっと楽しめ、理解できる展開にしてほしい。</li> </ul>
⑥【港区赤坂・青山地区と郡上市の子どもたちの交流事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化だけでなく、地方都市との交流があるのは良いし、さらなる交流を深めたら良いのではないかと。</li> <li>・ 郡上市との交流に限らず、外国の方との文化交流も深めたら良いのではないかと。</li> <li>・ まちの将来像をどうしたいのか、長期的ビジョンがあるとは思えない。</li> </ul>
⑥【まちの歴史伝承のための冊子作成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史の移り変わりを記録することは意味がある。</li> <li>・ 冊子を作成することで次世代への継承ができるとは思えない。</li> <li>・ 一部の人の楽しみや自己満足で終わらないように、目的を明確にして進めてほしい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域事業がおこなわれていることが周知されていない、地域事業に関する情報を得ることができない。</li> <li>・ どの事業についても関心がないわけではないが、参加できるかどうかについては別の問題になる。</li> </ul>

※類似している意見については、まとめてあります。

### 3. 【問 13】 参加している地域活動（複数回答）

質問：地域・コミュニティにおける活動のうち、参加している活動について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

	設問	件数	構成比（%）
1.	町会・自治会の役員活動等（管理・運営）	24	（ 8.7）
2.	地域（自治会・町会等）で開催される祭り、催事等への参加	44	（ 16.0）
3.	PTA活動	9	（ 3.3）
4.	ボランティア・NPO・地域活動等	16	（ 5.8）
5.	行政が主催するテーマ別のコミュニティ活動	4	（ 1.5）
6.	スポーツ・趣味・娯楽等	31	（ 11.3）
7.	その他の団体による活動	6	（ 2.2）
8.	特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない	141	（ 51.3）
9.	無回答	44	（ 16.0）
	合計	319	（ - ）
	回答者数	275	（100.0）



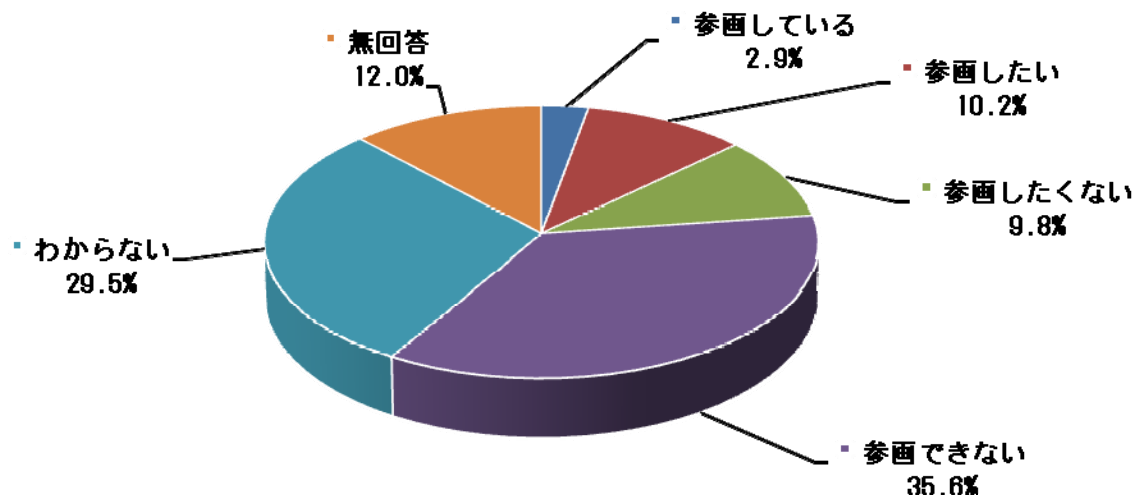
- ・過半数が「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」141人（51.3%）と回答している。
- ・参加したことがある活動で最も多いのは、「地域（町会・自治会）で開催される祭り、催事等への参加」44人（16.0%）で、次いで、「スポーツ・趣味・娯楽等」31人（11.3%）、「町会・自治会の役員活動等（管理・運営）」24人（8.7%）となっている。



#### 4. 【問 14】 地域事業への参画意向

質問：赤坂地区の地域事業に関する計画づくりや実施について参画のご意向はお持ちですか。(一つに○)

	設問	件数	構成比 (%)
1.	参画している	8	( 2.9)
2.	参画したい	28	( 10.2)
3.	参画したくない	27	( 9.8)
4.	参画できない	98	( 35.6)
5.	わからない	81	( 29.5)
6.	無回答	33	( 12.0)
	合計	275	(100.0)

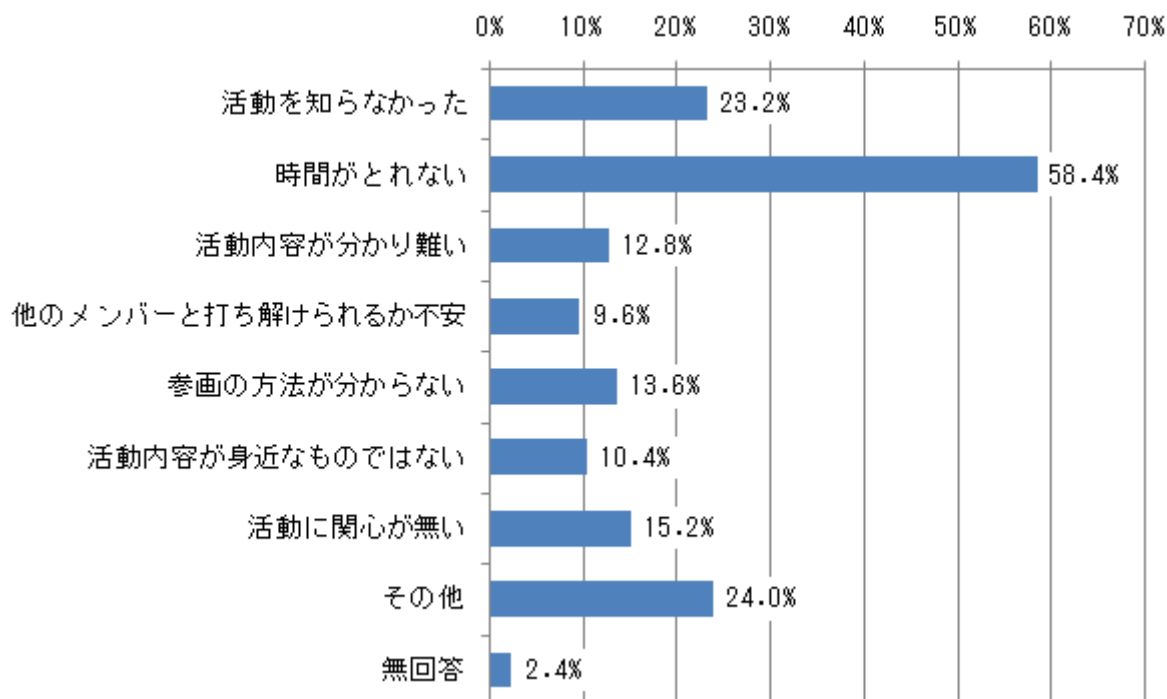


・地域事業への参画意向は、「参画できない」が 98 人 (35.6%) と最も高く、次いで「わからない」81 人 (29.5%)、「参画したい」28 人 (10.2%)、「参画したくない」27 人 (9.8%) となっている。「参画している」は 8 人 (2.9%) と最も低い割合となっている。

## 5. 【問 15】 地域活動等へ参画しない理由（複数回答）

質問：問 14 で、「参画したくない」「参画できない」とお答えになった方にお聞きします。その理由はどのようなものですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。  
ご記入後は問 16 へお進みください。

	設問	件数	構成比 (%)
1.	活動を知らなかった	29	( 23.2 )
2.	時間がとれない	73	( 58.4 )
3.	活動内容が分かり難い	16	( 12.8 )
4.	他のメンバーと打ち解けられるか不安	12	( 9.6 )
5.	参画の方法が分からない	17	( 13.6 )
6.	活動内容が身近なものではない	13	( 10.4 )
7.	活動に関心が無い	19	( 15.2 )
8.	その他	30	( 24.0 )
9.	無回答	3	( 2.4 )
	合計	212	( - )
	回答者数	125	(100.0)

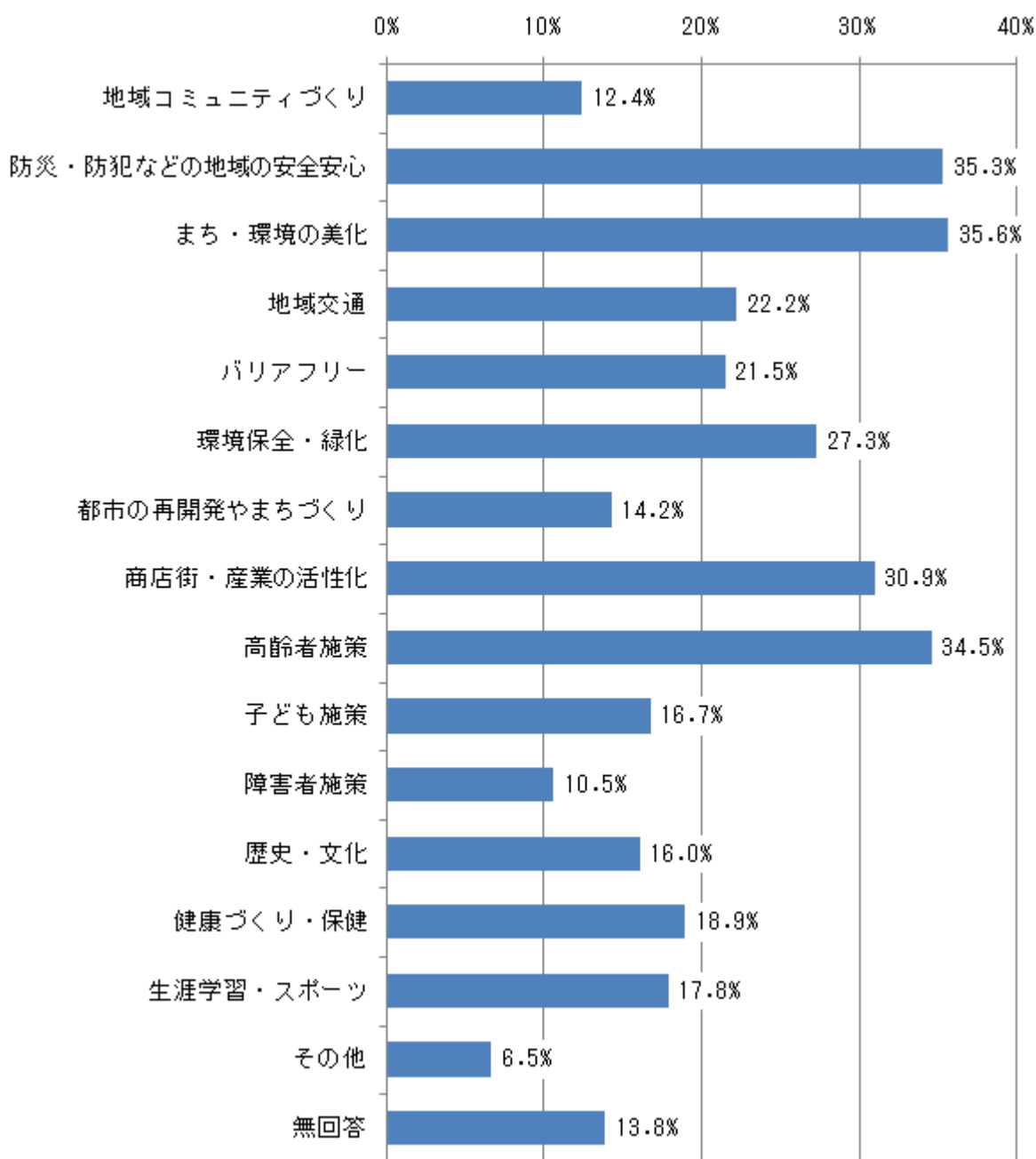


- ・「時間が取れない」が 73 人 (58.4%) と最も多く、次いで「活動を知らなかった」29 人 (23.2%) となっている。
- ・「その他」30 人 (24.0%) の中には「持病・高齢のため参加が不可能」・「体力的・能力的に無理である」といった回答が多く見られた。

## 6. 【問 16】地域の課題（複数回答）

質問：お住まいの地域にとって課題とお考えになっていること、またお困りになっていること、または必要性が高いとお考えの取組みは何ですか。下の表の上段で当てはまるテーマ全てに○を付け、下段に具体的なご意見をご記入ください。

	設問	件数	構成比（％）
1.	地域コミュニティづくり	34	（ 12.4）
2.	防災・防犯などの地域の安全安心	97	（ 35.3）
3.	まち・環境の美化	98	（ 35.6）
4.	地域交通	61	（ 22.2）
5.	バリアフリー	59	（ 21.5）
6.	環境保全・緑化	75	（ 27.3）
7.	都市の再開発やまちづくり	39	（ 14.2）
8.	商店街・産業の活性化	85	（ 30.9）
9.	高齢者施策	95	（ 34.5）
10.	子ども施策	46	（ 16.7）
11.	障害者施策	29	（ 10.5）
12.	歴史・文化	44	（ 16.0）
13.	健康づくり・保健	52	（ 18.9）
14.	生涯学習・スポーツ	49	（ 17.8）
15.	その他	18	（ 6.5）
16.	無回答	38	（ 13.8）
	合計	919	（ - ）
	回答者数	275	（100.0）



- ・地域の課題への関心は、「まち・環境の美化」が 98 人（35.6%）と最も高く、次いで「防災・防犯などの地域の安全安心」97 人（35.3%）、「高齢者施策」95 人（34.5%）、「商店街・産業の活性化」が 85 人（30.9%）、となっている
- ・「その他」には、「商店街・産業の活性化」と重なる意見だが、「日常の買い物が不便である」という意見も多く含まれていた。

7. 【問 16】地域の課題への具体的な意見（主なもの）

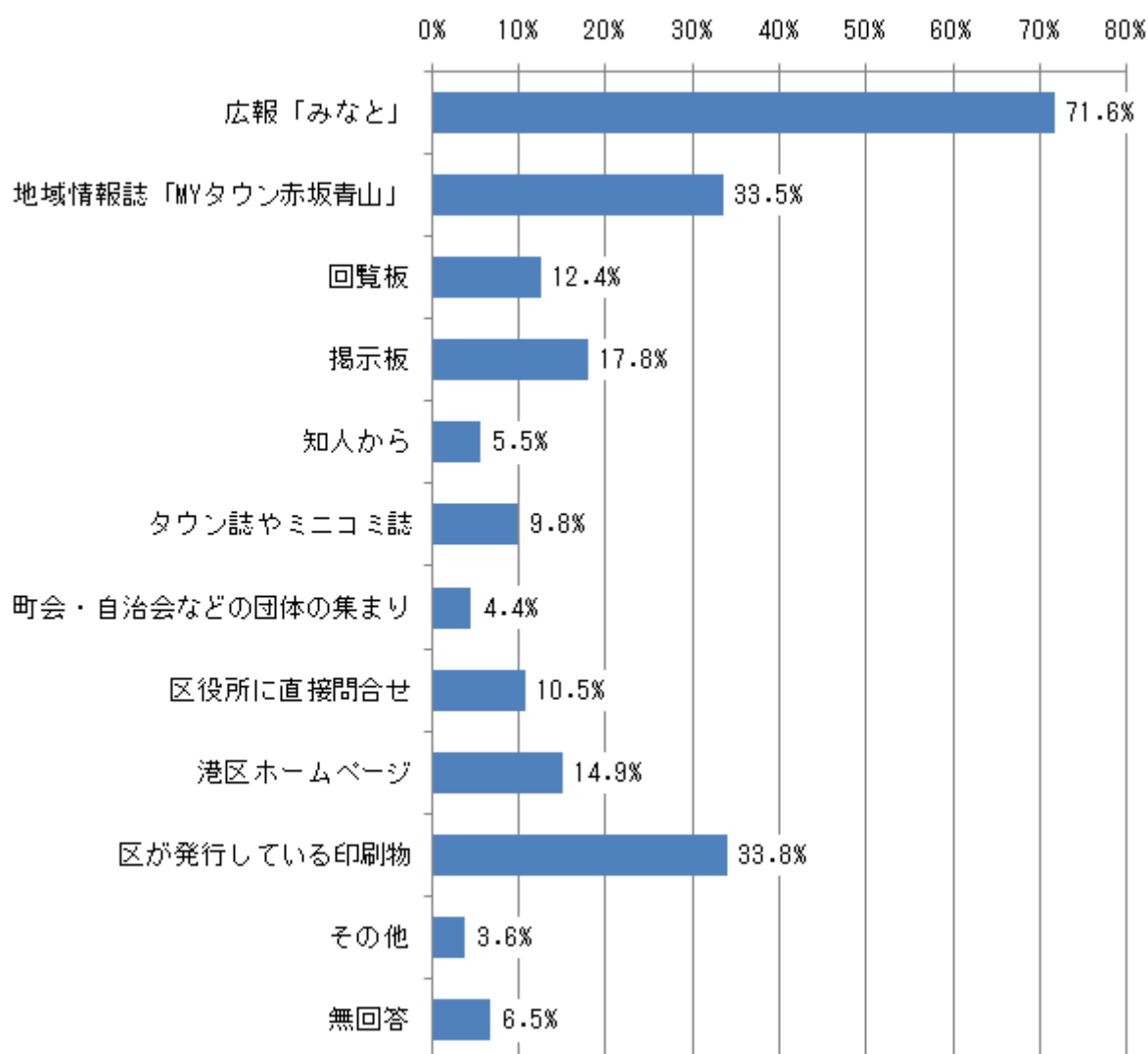
テーマ	具体的意見
1. 地域コミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所づきあい、地域のつながりが感じられない。</li> <li>・行政が主導で、力を入れ活性化させると良い。</li> <li>・マンション住民は地域の関わりがない。</li> </ul>
2. 防災・防犯などの地域の安全安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空きビル、空き家が増加しているので、その対策を望む。</li> <li>・犯罪抑止のために、警察のパトロール等を強化してほしい。</li> <li>・災害時にどのように対処をすればよいのか分からない。</li> </ul>
3. まち・環境の美化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電線等の埋設、歩道の拡張等を進めてほしい。</li> <li>・タバコのポイ捨て、ゴミの散乱が目立つ。また、景観を損なう広告（のぼり、置き看板等）の規制を検討してほしい。</li> </ul>
4. 地域交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちいばす」が運行され、便利になった。今後は、停留所や運行時間の見直し、ルートの特充等を検討してほしい。</li> <li>・交通ルールの徹底やマナーの啓発が必要だと思う。</li> </ul>
5. バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車道の段差、階段等は期限や目標を決めて整備してほしい。</li> <li>・障害のある人・高齢者にとって不便と思われる場所がたくさんある。健常者ではわからない部分についての検討が重要。</li> <li>・地下鉄駅のエレベーター、エスカレーター整備の充実に望む。</li> </ul>
6. 環境保全・緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発等で緑が減っていくことを危惧している。</li> <li>・街路樹を植える等、緑化の促進を望む。</li> <li>・企業等とも連携して緑を増やしていく等の努力を望む。</li> </ul>
7. 都市の再開発やまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に合った見直し、まちの活性化のための再開発は必要だが、高層ビルが次々と建つことは望ましくない。</li> <li>・再開発により、これまで穏やかであった住環境が損なわれている。</li> </ul>
8. 商店街・産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活必需品、食料品の買い物が不便で困っている。</li> <li>・ビルにテナントが入らない、空き店舗が目立つという状況に、対応策を講じる必要がある。</li> </ul>
9. 高齢者施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設の拡充をしてほしい。</li> <li>・今後も高齢者が増えるので、今から対応を考える必要がある。</li> </ul>
10. 子ども施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の整備等、子どもの安全が守られる環境づくりを望む。</li> <li>・公園等、子どもが安心して遊べる環境を整備してほしい。</li> <li>・若い家族が住みやすく、子育てのしやすい環境を整備してほしい。</li> </ul>
11. 障害者施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健常者ではわかりにく問題なので、当事者の意見等を踏まえ、調和のある施策を検討してほしい。</li> <li>・バリアフリーの問題と関連して考えてほしい。</li> </ul>
12. 歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必須な課題ではないが、歴史・文化を知るのは大切だと思う</li> <li>・どのように継承していくか、残していくかが大切だと思う。</li> </ul>
13. 健康づくり・保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽い運動・散歩がしやすいように公園や歩道の整備をしてほしい。</li> <li>・健診や予防接種等に対する補助の充実にしてほしい。</li> <li>・すべてを区に頼るのではなく、自分の意識向上が必要。</li> </ul>
14. 生涯学習・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ施設の設置を望む。</li> <li>・メニューを豊富に、誰でも参加出来る生涯学習の機会をつくってほしい。</li> <li>・各種施設の開設（開館）時間を延長してほしい。</li> </ul>
15. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の企業と協力連携することにより地域の活性化や地域情報基盤の整備を進めてほしい。</li> </ul>

※類似している意見については、まとめてあります。

## 8. 【問 17】 情報の入手方法（複数回答）

質問：あなたは、区政や区の手続き等に関し、区や赤坂地区総合支所が発信している情報をどのように入手していますか。主なもの3つまで○を付けてください。

	設問	件数	構成比（％）
1.	広報「みなと」	197	（ 71.6）
2.	赤坂地区総合支所が発行している地域情報誌「MYタウン赤坂青山」	92	（ 33.5）
3.	回覧板	34	（ 12.4）
4.	掲示板	49	（ 17.8）
5.	知人から	15	（ 5.5）
6.	タウン誌やミニコミ誌	27	（ 9.8）
7.	町会・自治会などの団体の集まり	12	（ 4.4）
8.	区役所に直接問合せ	29	（ 10.5）
9.	港区ホームページ	41	（ 14.9）
10.	区が発行している印刷物（パンフレット・ちらし等）	93	（ 33.8）
11.	その他	10	（ 3.6）
12.	無回答	18	（ 6.5）
	合計	617	（ - ）
	回答者数	275	（100.0）



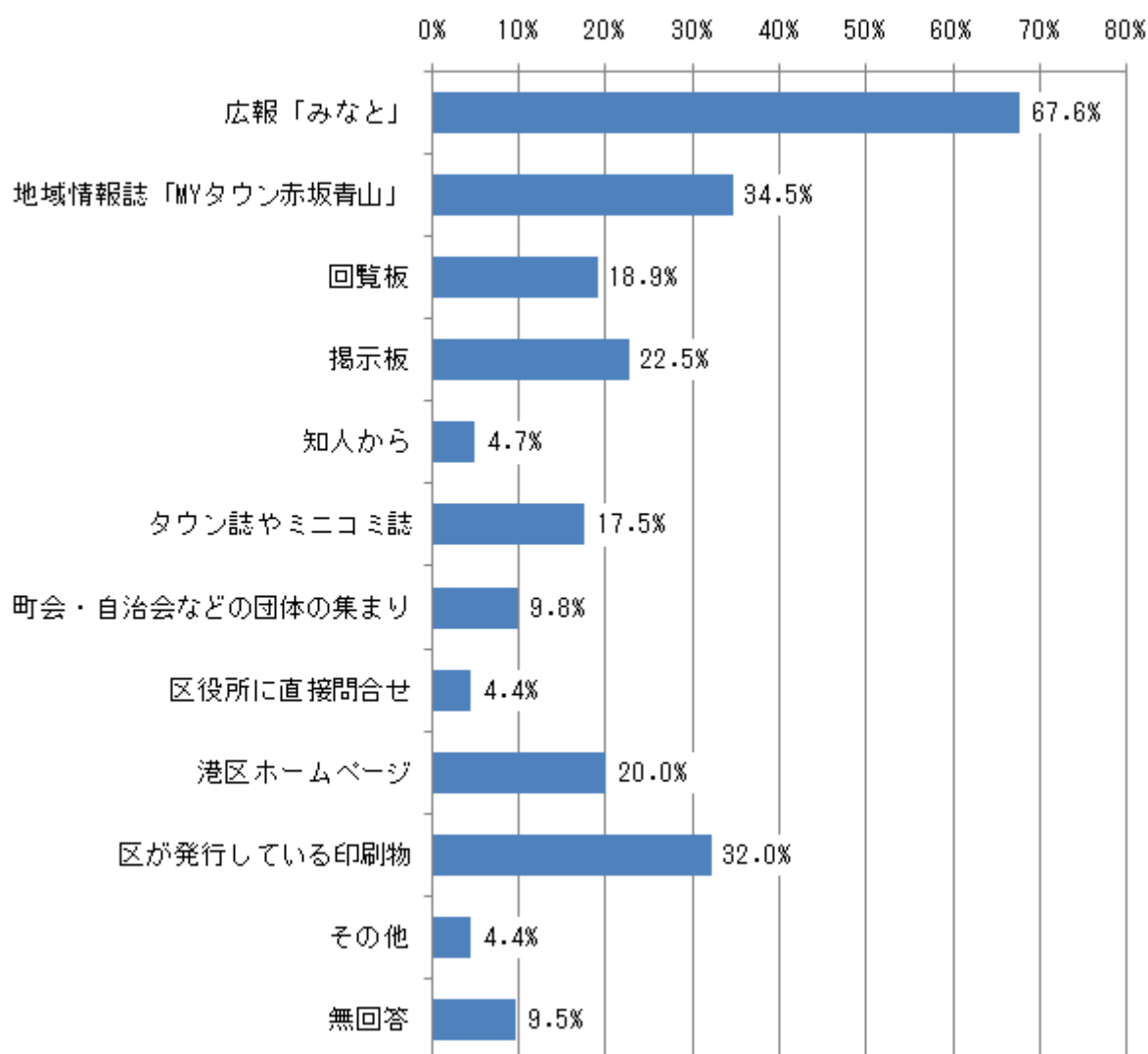
・情報の入手方法は、「広報「みなど」」が 197 人（71.6%）と最も高く、次いで「区が発行している印刷物（パンフレット・チラシ等）」93 人（33.8%）、「赤坂地区総合支所が発行している地域情報紙「MYタウン赤坂青山」」92 人（33.5%）、いずれも区が発行している紙媒体の情報となっている。

9. 【問 18】 住民参加の呼びかけ方法（複数回答）

質問：区や赤坂地区総合支所からの住民参加の呼びかけとして、どのような方法が適当であるとお考えですか。効果が高いと思うもの3つまで○を付けてください。

	設問	件数	構成比（％）
1.	広報「みなと」	186	（ 67.6）
2.	赤坂地区総合支所が発行している地域情報誌「MYタウン赤坂青山」	95	（ 34.5）
3.	回覧板	52	（ 18.9）
4.	掲示板	62	（ 22.5）
5.	知人から	13	（ 4.7）
6.	タウン誌やミニコミ誌	48	（ 17.5）
7.	町会・自治会などの団体の集まり	27	（ 9.8）
8.	区役所に直接問合せ	12	（ 4.4）
9.	港区ホームページ	55	（ 20.0）
10.	区が発行している印刷物（パンフレット・ちらし等）	88	（ 32.0）
11.	その他	12	（ 4.4）
12.	無回答	26	（ 9.5）
	合計	676	（ - ）
	回答者数	275	（100.0）





- ・住民参加への呼びかけ方法として効果が高いと思うものについては、「広報「みなど」」が186人（67.6%）と最も高く、次いで「赤坂地区総合支所が発行している地域情報紙「MYタウン赤坂青山」」95人（34.5%）、「区が発行している印刷物（パンフレット・チラシ等）」88人（32.0%）、いずれも区が発行している紙媒体の情報となっている。

刊行物発行番号 22214-2035

平成22年度  
港区基本計画・赤坂地区版計画に関する  
区民意識調査報告書

平成23年（2011年）2月発行

発行 港区赤坂地区総合支所協働推進課  
港区赤坂四丁目18番13号  
電話 03（5413）7011 代表